

吹田市では、平成13年度(2001年度)より高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律(通称:交通バリアフリー法)に基づき、市内14駅すべての駅周辺地区の基本構想策定を進めています。平成18年度(2006年度)は、千里山・関大前、南千里の2地区3駅で基本構想を策定しました。バリアフリーの進み具合や、身体障害者、高齢者などを含む市民のニーズをもとにその地区にあった整備を検討し、だれもが安全で安心して移動できるまちづくりを進めていきます。

## 千里山・関大前地区



### 交通バリアフリーの背景

- 千里山駅周辺では、千里山駅周辺整備事業と一体となった効果的なバリアフリー整備が必要とされています。
- 関大前駅周辺は、高齢者などに対する配慮が十分ではなく、また学生が多数集まることによる駅舎・道路の混雑、大学前通りの歩行者・自動車動線の交錯、迷惑駐輪等、交通環境の改善が大きな課題となっています。

### 交通バリアフリーの基本的な方針

- 駅から施設へのバリアフリーネットワークの構築を図ります。
- 安心、安全な歩行空間の形成をめざします。
- 地域のまちづくりと連携したバリアフリーをめざします。

### 千里山駅周辺整備事業との連携

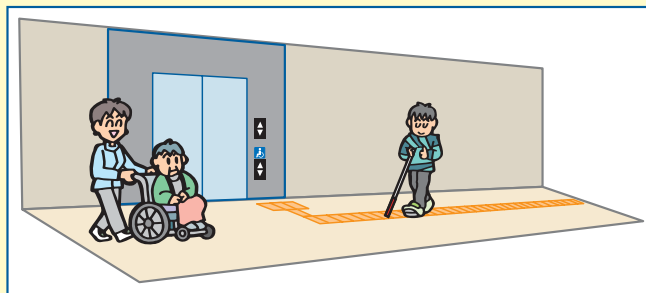
千里山駅周辺では、「千里山駅周辺まちづくり懇談会」において千里山駅周辺のまちの将来像の検討が進められています。まちづくりと交通バリアフリーの連携を図りながら、公共交通、歩道、信号等の事業者による一体的なバリアフリー化整備を推進し、より効率的、効果的なバリアフリー化をめざします。



千里山駅周辺まちづくり懇談会(千里山駅周辺整備事業)主な検討範囲

## 地区共通の主なバリアフリーの考え方

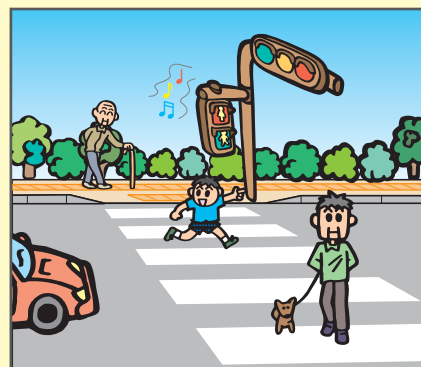
### 駅舎のバリアフリー化の主な考え方



- 誰もが、公共用通路からホームまで安全で安心して移動できる移動円滑化された経路を1以上設けるよう努めます。

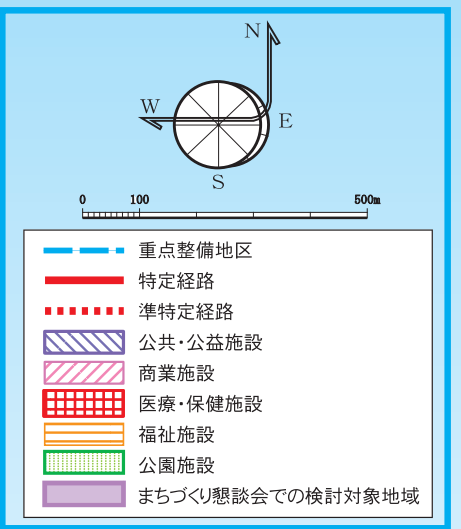
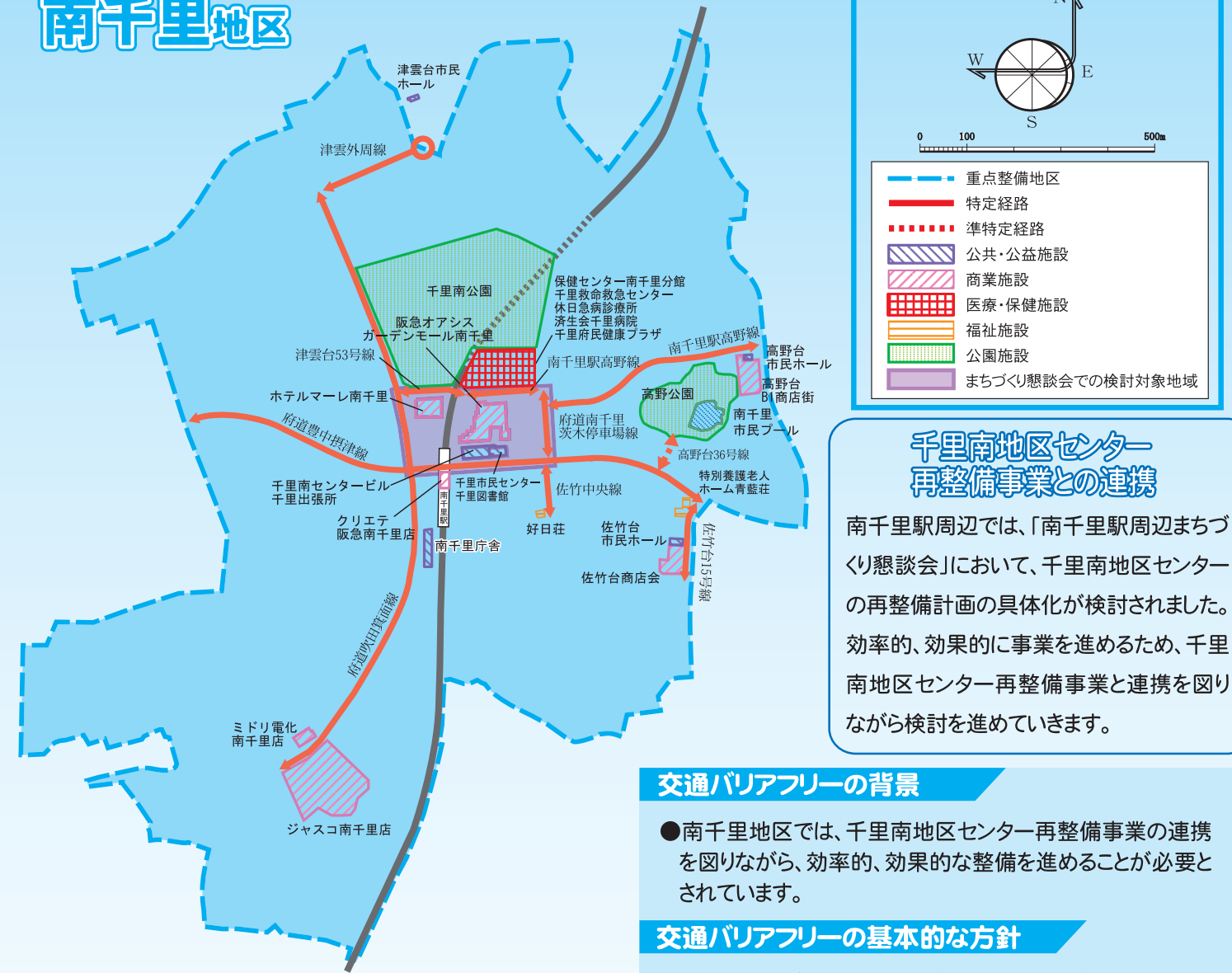
例) 高低差の大きい経路にはエレベーター等の垂直移動設備を設置。経路上には視覚障害者誘導用ブロックの設置。

### 信号機のバリアフリー化の主な考え方



- 誰もが、安全で安心して利用できるよう、歩行者用青信号の時間の調整や、音響信号・弱者感应式信号機の導入を検討します。

## 南千里地区



### 千里南地区センター再整備事業との連携

南千里駅周辺では、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」において、千里南地区センターの再整備計画の具体化が検討されました。効率的、効果的に事業を進めるため、千里南地区センター再整備事業と連携を図りながら検討を進めていきます。

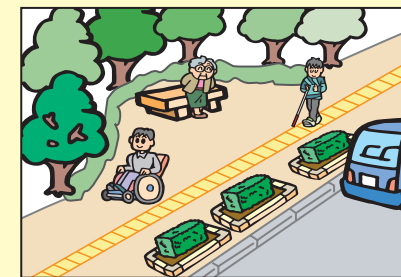
### 交通バリアフリーの背景

- 南千里地区では、千里南地区センター再整備事業の連携を図りながら、効率的、効果的な整備を進めることが必要とされています。

### 交通バリアフリーの基本的な方針

- 地域のまちづくりと連携したバリアフリーをめざします。
- 既存の動線に配慮した、安心、安全、わかりやすい歩行空間を確保します。

### 歩道のバリアフリー化の主な考え方



- 重点整備地区内において、特定経路<sup>※1</sup>と準特定経路<sup>※2</sup>を定め、誰もが安全で安心して移動できるバリアフリー基準を満たした歩道の確保に努めます。

例) 歩道の有効幅員の確保。段差・勾配の解消。バリアフリー化に配慮した路面舗装。照明施設の整備。案内標識の整備。経路上には視覚障害者誘導用ブロックの設置。

※1 特定経路: 特定旅客施設と高齢者や身体障害者等がよく利用する施設(以下「主な施設」とする)を結ぶ主要な経路を位置づけたものです。平成22年度(2010年度)を目標に、誰もが安全で安心して移動できる歩道のバリアフリー基準を満たすよう整備を進めます。  
 ※2 準特定経路: 特定旅客施設と主要な施設を結ぶ経路のうち、現状のまちなみや地形的制約等により部分的にバリアフリー基準を満たすことが困難な経路を位置づけたものです。中長期的には基準に近づけるよう努めながら整備を進めます。

### 心のバリアフリー

吹田市では「だれもが気軽に出かけられるまちづくり」をめざしています。各事業者が駅や道路等のバリアフリー化事業を進めても利用できなければ意味のないものになってしまいます。一人ひとりがお互いを思いやり、マナーの向上やサポートの実施に努めることもバリアフリー化に大きな役割を果たします。

